

日八十二月二十年三十和昭 (日曜日) 日五十二月二十年三十和昭  
第 一 萬 八 千 九 百 四 十 一 號 第 一 萬 八 千 九 百 四 十 一 號

### 「上り」には来たが

## 心満たぬ學友

### また蘇と出世六



この 律儀な勇気  
蘇と出世六の勇気は、戦死した同級生をしのび、戦況を憂へ、戦後復興を期す。彼等は、戦中から戦後にかけて、常に同志の心をなやませ、同志の苦難を共にし、同志の進歩を期す。彼等は、戦中から戦後にかけて、常に同志の心をなやませ、同志の苦難を共にし、同志の進歩を期す。

蘇と出世六の勇気は、戦死した同級生をしのび、戦況を憂へ、戦後復興を期す。彼等は、戦中から戦後にかけて、常に同志の心をなやませ、同志の苦難を共にし、同志の進歩を期す。彼等は、戦中から戦後にかけて、常に同志の心をなやませ、同志の苦難を共にし、同志の進歩を期す。

## 遺志は必ず僕が――

### 敵國少佐のカパルト散話 東大生感激の申出て

東大生感激の申出て  
敵國少佐のカパルト散話  
東大生感激の申出て  
敵國少佐のカパルト散話  
東大生感激の申出て  
敵國少佐のカパルト散話  
東大生感激の申出て

蘇と出世六の勇気は、戦死した同級生をしのび、戦況を憂へ、戦後復興を期す。彼等は、戦中から戦後にかけて、常に同志の心をなやませ、同志の苦難を共にし、同志の進歩を期す。彼等は、戦中から戦後にかけて、常に同志の心をなやませ、同志の苦難を共にし、同志の進歩を期す。